



消泡剤

オルデフォーム FC-100 シリーズ

各産業分野における製品製造工程あるいは排水処理工程にしばしば泡の発生がみられ処理効率の低下、運転操作に対する障害などに悩まされることがあります。

これらの障害を解決するのが消泡剤**オルデフォーム FC-100 シリーズ**です。それぞれ発泡物質に応じた適合性があり、処理対象物質、排水の種類などにより使い分ける必要があります。

オルデフォーム FC-100 シリーズはこれらの多様なニーズに的確にお応えできるよう多くの種類を取り揃えています。下記表から消泡剤の成分、特長を参考にして適切な消泡剤をお選びください。

オルデフォーム FC-100	特長	①消泡力が優れているため、少量添加で十分な効果を発揮します。 ②破泡力と共に抑泡性も兼ね備えていますので、効果の持続性があります。 ③排水の種類にかかわることなく、優れた消泡力を発揮します。		
	使用方法	原液または 2～100 倍に希釈してご使用ください。	MBR(膜分離活性汚泥)使用可	
	性状*	タイプ	脂肪酸エステル系	pH(1%溶液) 4.3
		比重(25℃)	1.0	粘度(25℃) 180mPa・s
		水への溶解性	水に乳化	有効添加量 1～100mg/L*
外観	淡黄色油状	COD 83%		
荷姿	17kg			

オルデフォーム FC-110	特長	①消泡力が優れているため、少量添加で十分な効果を発揮します。 ②破泡力と共に抑泡性も兼ね備えていますので、効果の持続性があります。 ③排水の種類にかかわることなく、優れた消泡力を発揮します。		
	使用方法	原液または 10～100 倍に希釈してご使用ください。	MBR(膜分離活性汚泥)使用可	
	性状*	タイプ	高級アルコール系	pH(1%溶液) 6.5
		比重(25℃)	1.0	粘度(25℃) 330mPa・s
		水への溶解性	水に乳化	有効添加量 1～100mg/L*
外観	淡黄色油状	COD 100%		
荷姿	18kg			

オルデフォーム FC-120	特長	①消泡効果がすぐれているため経済的なコストで十分な効果が得られます。 ②破泡力と抑泡力を兼備したすぐれた消泡性が得られます。		
	使用方法	原液のままご使用ください。	MBR(膜分離活性汚泥)使用可	
	性状*	タイプ	高級アルコール系	pH(1%溶液) 6.0
		比重(25℃)	1.0	粘度(25℃) 170mPa・s
		水への溶解性	水に乳化	有効添加量 1～500mg/L*
外観	淡黄色油状	COD 70%		
荷姿	17kg			

オルデフォーム FC-121	特長	①消泡力が優れているため、少量添加で十分な効果を発揮します。 ②破泡力と共に抑泡性も兼ね備えていますので、効果の持続性があります。 ③排水の種類にかかわることなく、優れた消泡力を発揮します。		
	使用方法	原液のままご使用ください。* 高温になると分離しやすくなるため冷暗所でご使用 ください。 納入後 2 か月以内でご使用ください。	MBR(膜分離活性汚泥)使用可	
	性状*	タイプ	高級アルコール系+固形パラフィン	pH(1%溶液) 6.8
		比重(25℃)	1.0	粘度(25℃) 320mPa・s
		水への溶解性	水に乳化	有効添加量 1～100mg/L*
外観	乳白色エマルジョン	COD 2.1%		
荷姿	17kg			

タイプ シリコン系	特長	①優れた消泡力より、消泡剤として広範囲の用途を持っています。 ②各種の発泡液に対して、ごく微量の添加で優れた消泡力と持続性を発揮します。 ③耐薬品性に優れています。 ④COD が低いので、排水規制に十分対処できます。			
	使用方法	原液または水で 2~10 倍に希釈してご使用ください。	MBR(膜分離活性汚泥)不可		
オルデフォーム FC-131	性状*	比重(25℃)	1.0	pH(1%溶液)	7.0
		水への溶解性	水に乳化	粘度(25℃)	50mPa・s
		外観	乳白色エマルジョン	有効添加量	5~500mg/L*
		※希釈カス発生が少ないタイプです。		COD	3.3%
荷姿	16kg				
オルデフォーム FC-132	性状*	比重(25℃)	1.0	pH(1%溶液)	7.0
		水への溶解性	水に乳化	粘度(25℃)	100mPa・s
		外観	乳白色エマルジョン	有効添加量	5~500mg/L*
		※FC-131 の濃厚タイプで持続性が良好です。		COD	4.3%
荷姿	16kg				
オルデフォーム FC-137	性状*	比重(25℃)	1.0	pH(1%溶液)	7.5
		水への溶解性	水に乳化	粘度(25℃)	1000mPa・s 以下
		外観	乳白色エマルジョン	有効添加量	5~500mg/L*
		※添加時の油膜の発生が少ないタイプです。		COD	8.2%
荷姿	17kg				

オルデフォーム FC-160	特長	①消泡力が優れているため、少量添加で十分な効果を発揮します。 ②破泡力と共に抑泡性も兼ね備えていますので、効果の持続性があります。 ③排水の種類にかかわることなく、優れた消泡力を発揮します。			
	使用方法	原液のままご使用ください。*	MBR(膜分離活性汚泥)不可		
	性状*	タイプ	高級アルコール系+固形パラフィン+鉱油	pH(1%溶液)	6.0
		比重(25℃)	1.0	粘度(25℃)	200mPa・s
水への溶解性		水に乳化	有効添加量	1~100mg/L*	
外観	乳白色エマルジョン		COD	3.4%	
荷姿	17kg				

※代表値であり、品質規格値ではありません。

※有効添加量は、発泡系の種類、起泡状況に応じて適切な添加量を決定してください。

※FC-121/FC-160 は、希釈使用も可能ですが、直ぐに濃度勾配で分離します。再攪拌すれば、均一に分散します。

エマルジョンを壊さない程度の緩速攪拌が必要になります。FC-121(2-50 倍希釈推奨)、FC-160(2-3 倍希釈推奨)

※納入後は、冷暗所で保管し、速やかにご使用ください。特に FC-121 は、納入後 2 か月以内でのご使用をお願いいたします。

取扱上の注意

- ① 密閉して冷暗所に保存してください。開封後は、速やかにご使用ください。
- ② 冬季には、凍結しないよう注意して保存してください。
- ③ 保存中に液層が分離する事があります。軽く攪拌してからご使用ください。
- ④ 希釈に際しては、所定の希釈倍率を守り、極力 24 時間以内にご使用ください。
- ⑤ 希釈液は徐々に分離しますので、定期的な上下が入れ替わるように軽く攪拌ください。
- ⑥ 希釈タンクや原液タンクには、希釈カス等が付着します。定期的な清掃をお願いします。
- ⑦ 原液や希釈液の長時間の攪拌は避けてください。エマルジョンが破壊され、消泡成分が析出する恐れがあります。また、析出した消泡成分がタンク内に付着・沈積する恐れがあります。
- ⑧ 懸濁物質濃度の低い排水に、高濃度で消泡剤を添加すると油膜が発生する事があります。
- ⑨ 取扱の際は、保護眼鏡やゴム手袋等の保護具を必ず着用してください。
- ⑩ 皮膚に触れた場合は、汚染した衣服を脱ぎ、多量の流水で、石鹸を用いて触れた部分を洗い流してください。異常がある場合には、医師の手当てを受けてください。
- ⑪ 眼に入った場合は、直ちに大量の水で 15 分以上洗顔し、眼科医の治療を受けてください。
- ⑫ 本製品をタンクに貯留し長期使用した場合、析出物等が発生し、吐出不良が発生する可能性がありますので、1 回/半年以上はタンク内を確認し、必要に応じて清掃を行ってください。
- ⑬ 配管注入の場合は、サイホン止めチャッキ弁・リリーフ弁を設置してください。サイホン止めチャッキ弁・リリーフ弁は 1 回/半年以上は、動作確認・清掃を行ってください。詳しくは、技術資料(PT54155)および安全データシート(SDS)をご参照ください。

オルガノ株式会社

[機能商品事業部]

〒136-8631 東京都江東区新砂 1 丁目 2 番 8 号
TEL:03-5635-5214 FAX:03-3699-7244

オルガノホームページ <https://www.organo.co.jp>

親切とサービスをお届けする販売店

株式会社イーライフ  e-life

〒581-0885 大阪府八尾市神宮寺5-184
TEL 072-943-6003 FAX 072-943-6009